

# ぼらっと



発行元 〒020-0541 栗石町千刈田 82-2  
栗石町総合福祉センター内  
栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター  
☎ : 692-2230/FAX : 691-1140  
e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp  
http://www.shisha.or.jp

## ☆ぼらっとーキング☆

6月27日(土) 28日(日)に開催された、第1回・第2回災害ボランティア講習会に参加していただいた志田日出子さん(中町一)、上小林昇さん(小松)、菊池隼人さん(黒沢)の3名にお話を伺いました!

①講習会大変お疲れ様でした。講習会に参加したきっかけを教えてください。

**志田**…チラシを見て参加しました。災害って書いてあって、肉体系なのかなあとか、他に女性は参加するのかなあとかすごく心配でした。

**上小林**…女の人でも子どもでも親子でも、現場に行けばやれることは必ずあるんです。テレビだけじゃ分からない、生で見て感じることもある。講習会も一緒に、まずは「やってみる」かな。

**菊池**…声をかけられて参加しました。役場に入って1年目だったのでこういうものなのかなという興味があったので。

多くの災害が栗石であったのかと。子どもたちにも栗石の歴史として勉強して欲しい。栗石ではこんなに災害があったんだよというのを分かって欲しい。

**菊池**…もりだくさんの内容でとても充実していました。実際災害ボランティアにも参加しているんですけど、連絡手段等新たな発見が多くありました。信頼関係も大事だなと思いました。何回か会っている方と活動するのと、知らない人と活動するのでは違いますよね。今回の講習会もそうでした。

**上小林**…今年は基礎を重点にした講習会だから、一般の方が参加しやすい雰囲気だったのがよかった。あとは、カッコウだけの防災じゃなく、実際災害があったとき動ける組織がどれだけあるのかが問題だなと。

②「土のうマシーン1・2・3」を使って土のう作りも体験していただきましたが、いかがでしたか?

**志田**…土のう袋のヒモ結びが上手く出来ませんでした。こうやるんだというのが分かってよかったです。砂をたくさん入れるのかなと思いきや、そうじゃなかったのも驚きでした!子どもたちにも教えてあげたい!

**上小林**…砂をたくさん入れない意味を実際に体験して知れたのがよかった。こういうのはやっぱり教わらないと分からない。



③最後に何かあれば!

**志田**…どんなボランティアがあるのか知りたいです!したくても情報がない人のために、どんどん情報発信して欲しいです。

**上小林**…情報発信の努力ももちろん必要だよ。あとは、何かしたいと思ったら、どんどん行動に移していくべき。待っているだけではだめだよ。

**菊池**…情報収集は必要だと思います。情報があるだけで、行動が全然違うと思うので。

④みなさんの素晴らしいボランティア精神にとっても感動しました!残り2回の講習会も宜しく願いします!最後にガッツポーズでパチリ☆



菊池 隼人さん

⑤講習会を受講してみていかがでしたか?

**志田**…行けば出来ることがあるんだなと思いました。「やってやる」「やってもらう」でなく、お互いと一緒に努力するというのを学びました。あとは栗石の災害の多さに驚きました!

**上小林**…栗石町の過去の災害年表、あれはすごく良かった!こんなにも



志田 日出子さん



# 平成27年度第1回・第2回災害ボランティア講習会が開催されました！！

## —受講された参加者の声(一部抜粋)—

- 「誰かが何かをしてくれる」という意識は捨て、自分が何をどれだけ出来るかが大事ということを再認識した。
- 「誰のための活動か」を常に意識する必要がある。
- 被災者の方が遠慮していることもあるとは思いませんでした。
- 今までボランティアは被災した人の「ために」という考えでいたが、今日の講習会で考え方が変わった。
- 「一軒の家での作業時間が長くなると、家主さんの疲労度も高くなる」ということにハッとした。長く作業をしてたくさんの困りごとを解決するのがいいと勘違いしていた。



## 講 議

災害時の連絡方法、避難経路、栗石町の過去の災害、減災の知恵や工夫、災害ボランティア活動に役立つ豆知識、災害ボランティアセンターの役割など、基本とはいえ、「目からウロコ！！」なお話が満載でした。



講師の広田泉さん自身の経験を交えたお話が分かりやすいと好評でした！！

「なるほど〜！」と納得顔！



## グループワーク

災害支援をする際、あらゆる物事を瞬時に判断する必要があります。今回のグループワークでは、活動を行う上で起こりうる課題について、一人ひとり意見を出し合い、グループで話し合っていました。

例) あなたはボランティアです。家主は床下の泥出しを希望していませんが、泥出しは確実に必要な状況です。あなたは泥出しをしますか？しませんか？



メンバーは活動経験者から未経験者までいろいろ…出てくる意見もいろいろ…

「一番☆」のみなさん♪ このグループでは、家主さんの意見を尊重し、泥出しをしないという結論に！



## 土のう作り

「らくらく土のうマシン1・2・3」の作り方を教わったあとは、実践！！雨の中の作業となりましたが、土のうマシンを使って、土のう袋に砂を詰める作業！砂を入れすぎると運べなくなるくらい重くなることも、やってみないと分からないことでした。土のうの正しい積み方、活用方法、その他にも杭を打って足場を作る方法などを教わりました。

緑のプラスチック板が「らくらく土のうマシン1・2・3」。自立するので砂が入れやすく、分量も均等になってばっちり☆



早速、土のうマシンを使っての作業。2㎡の砂もアツという間に片付きました！



土のうの積み方にもコツが！！実は「土のう」って奥が深いのです…。



## 学校支援ボランティアの会よりお知らせ

学校支援ボランティアの会は、平成27年6月を以て解散することといたしました。今後は個人ボランティア活動などを通じて、地域の学校のより一層のお手伝いが出来ればと思っております。

これまで御協力頂きました皆さまや、各学校関係者の方々には厚く御礼申し上げますと共に、地域の子どもたちを今迄同様に見守り続けて行きたいと思っております。

学校支援ボランティアの会代表 佐々木浩子